



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2014.7.10

号外

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝

サッカー部

中国大学サッカー選手権優勝
第38回総理大臣杯全日本大学
サッカートーナメント出場
(5年ぶり5回目)

中国大学サッカー選手権優勝！ 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント出場！

【総評戦績】

2回戦 5月17日(土)@岡山県立大学グラウンド

福山大学 9 (4-0, 5-1) 1 島根大学

【得失点】前 2' 3' 渡邊, 前 3' 9' 國師, 前 4' 0' 渡邊, 前 4' 4' 國師
後 2' 佐々木, 後 1' 4' 加次, 後 3' 2' 加次, 後 3' 7' 鈴木, 後 3' 8' 島根大学, 後 3' 9' 昌子

準々決勝 5月18日(日)@ I P U環太平洋大学赤坂グラウンド

福山大学 5 (0-1, 5-1) 2 川崎医療福祉大学

【得失点】前 1' 2' 川崎医療福祉大学
後 2' 峯, 後 7' 加次, 後 3' 1' 川崎医療福祉大学, 後 3' 2' 加次,
後 4' 2' 前原, 後 4' 4' 昌子

準決勝 5月24日(土)@ I P U環太平洋大学赤坂グラウンド

福山大学 3 (1-0, 2-1) 1 広島大学

【得失点】前 2' 加次
後 2' 0' 広島大学, 後 4' 3' 林, 後 4' 5' 加次

決勝 5月25日(日)@ I P U環太平洋大学赤坂グラウンド

福山大学 1 ((0-0, 0-0), 延長(1-0, 0-1), PK(5-4)) 1 広島修道大学

【得失点】延長前 1' 4' 國師
延長後 1' 0' 広島修道大学



決勝戦スターティングメンバー

2回戦の島根大学戦は、立ち上がりこそ相手の堅い守りにチャンスを作れずにいたが、前半 2' 3' 分に渡邊が決めるとその後はゴールラッシュ。9点を積み重ね、大勝。

準々決勝の川崎医療福祉大学戦は、前半に先制点を許す展開ながら、後半逆転に成功。一時同点に追いつかれるものの、すぐに加次が決めて再逆転し、終盤には2点を追加し 5-2 で勝利。

準決勝の広島大学戦は、開始早々に先制し優位に試合を進めるものの、追加点を奪えないまま後半に同点にされる。しかし、終了間際に劇的な決勝ゴールをあげて決勝に進出。

決勝の広島修道大学戦は、一進一退の攻防で 0-0 のまま延長戦へ突入。延長前半に國師が素晴らしいゴールを決めて先制。しかし、粘る広島修道大学は延長後半の 1' 0' 分に同点ゴールをあげる。両チーム追加点をあげられないまま、試合終了。勝負はPK戦へ。キャプテン峯以下 5人全員が決めた福山大学に対し、広島修道大学の 5人目を G K川越が見事セーブし、勝利。5年ぶりの優勝を飾った。

- ・サッカー部 H P
<http://web.fukuyama-u.ac.jp/student/circle/soccer/index.html>
- ・サッカー部 ブログ
<http://fukudai06.blog43.fc2.com/>
- ・サッカー部 Facebook
<https://www.facebook.com/fukudaifootball>
- ・サッカー部 Youtube チャンネル
<https://www.youtube.com/user/fukudaisanzo>
- ・サッカー部 twitter
@fukudaisanzo



表彰式

吉田 卓史監督のコメント

【はじめに】

5月17日(土)～25日(日)まで、岡山県内にて開催されました「平成26年度中国大学サッカー選手権」で優勝し、8月8日(金)～17日(日)まで、大阪府内にて開催されます「第38回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント」への出場が決定しました。5年ぶり5回目の出場になります。

まずは、理事長や学長をはじめとする大学関係者に感謝いたします。今春には、人工芝の張り替えやクラブハウスの設置など、全国でも有数の素晴らしい環境を用意していただきました。選手たちは、大学全体での声援を背に、感謝の気持ちをピッチ上で爆発させたのだと思います。また、当日は多くの皆様のご声援をいただいたことで、パワーをいただけたと感じております。

【大会の様子】

今大会は4試合とも厳しいものでした。初戦こそ島根大学に9-1と勝利しましたが、準々決勝の川崎医療福祉大学戦は先制され、逆転するものの後半に同点にされ、何とかラストで畳み掛け5-2で勝利しました。準決勝の広島大学戦も開始早々先制するものの、後半同点に追いつかれ、PK戦も覚悟した残り2分に勝ち越し、その後追加点をあげ3-1で勝利しました。そして、決勝の広島修道大学戦もお互い無得点で延長戦に入り、延長前半に先制し、延長後半に追いつかれ、PK戦に突入しました。福山大学は5人全員が決めた後、GKの川越選手が広島修道大学の5人目を見事にセーブし、120分の死闘を制することができました。

ただ、今大会に関してはどんなに苦しい試合でも落ち着いて試合を見ていられました。優勝に至るまでの選手たちの取り組みは、本当に素晴らしいものだったからです。また、サッカー部の合い言葉は、「Positive Action」です。11人のプレーヤーだけでなく、サブメンバー、応援組、マネージャーまで部員全員が勝利の為に最善を尽くしてくれました。どんな状況におかれても常に前を向き、主体的に行動する習慣が身につくと思います。私たちスタッフは、そんな学生たちを信頼し、明るく見守ってやるだけで十分でした。本当に誇らしい学生たちです。

【全国大会に向けて】

総理大臣杯は、8月に大阪にて開催されます。「全国大会で活躍できる選手になろう」が今シーズンの目標でしたので、この1ヶ月間、さらに努力し全国の強豪大学にチャレンジしていきたいと思います。また、平行して中国大学サッカーリーグも開催されています。こちらについても、全国大会に出場できるようにチーム一丸となって前に進んでいきたいと思いますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。



胴上げされる吉田監督

峯 恭平主将のコメント



チーム一丸となって

福山大学サッカー部は、「平成26年度中国大学サッカー選手権」において、5年ぶり5回目の優勝を果たすことができました。昨年は、中国大学サッカー選手権(準々決勝敗退)、天皇杯広島県予選(準優勝)、中国大学サッカーリーグ(第3位)と1つもタイトルを掴むことができない悔しいシーズンを過ごしましたが、その悔しさをバネに、今年は的場コーチが学生時代に成し遂げた「三冠」を目標に、練習に励んできました。昨年は、中国大学サッカーリーグの前期ではなかなか思うようなスタートが切れず、チーム状態もあまりいいものではありませんでした。その反省点を生かし、今年は新チームが結成した時に「前期が始まるまでにどれだけ後悔のない良い準備をして、良い雰囲気の中で試合に臨めるか」という点を4年生中心に話し合い、色々な取り組みを行ってきました。中国大学サッカーリーグが始まるまでの期間では、大倉杯やトレーナーの筋トレメニュー、関西遠征などを経験し、レベルアップをはかりました。大倉杯では、すべての運営を学生だけで行い、試合、練習、審判、試合戦術などを自分たちで話し合うため、サッカーに関する知識や試合開始直後と終了間際の集中力アップ、技術の向上、そして中国大学サッカーリーグ、中国大学サッカー選手権、天皇杯、Iリーグでの活躍に役立つことを終了後の理想像に設け、強く意識することでレベルの高い試合ができました。

今回、このような結果が残せたのも多くの関係者の皆様のおかげだと思っています。人工芝の張り替えやクラブハウスの設置など、多くの方々にご尽力いただき、素晴らしい環境で気持ちよく試合や練習をさせていただいています。本当に感謝申し上げます。これからも、日頃の取り組みと結果で、少しでも恩返しができるように頑張りたいと思います。全国大会ではチームコンセプトである「Positive Action」を体現し、何事にも前向きに取り組み、一戦必勝でチーム一丸となって良い報告ができるように頑張りたいと思いますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

出場選手のコメント(ベンチ入りメンバー30名)



川越 竜磨

(4年/広島県・倉進高等学校出身)
GKとして、チームに安心感を与えられるようなプレーを心がけたいと思います。



内藤 貴之

(4年/島根県・出雲西高等学校出身)
ディフェンシブポジションならどこでもやります。チームに貢献できるような働きかけをしたいと思います。



伊藤 亮之

(3年/香川県・尽誠学園高等学校出身)
左サイドバックとして、攻守ともに貢献できるように頑張ります。



主将 峯 恭平

(4年/鹿児島県・神村学園高等学校出身)
全ての方々に応援していただけるチームを目指します。全国大会で通用する闘い方を身につけるよう厳しい練習をしています。



越智 拓巳

(2年/大分県・トリニタリ18出身)
チームを常に鼓舞し、自分自身も闘い姿を見せたいと思います。



岡本 祐太

(1年/広島市立沼田高等学校出身)
自分の特徴を出せるよう強い気持ちを持ってプレーします。



前原 翼

(2年/広島県・倉進高等学校出身)
チーム全体を見渡し、効果的なプレーとコーチングを心がけます。



林 遥

(2年/島根県立松山工業高等学校出身)
相手が嫌がるプレーを考えながら、ゴールに繋がるプレーを意識します。守備でもチームに貢献できるように頑張ります。



國師 龍也

(2年/鹿児島県・神村学園高等学校出身)
常に相手ゴールを目指し、前へプレーし続けます。



加次 佑

(2年/広島市立沼田高等学校出身)
相手との駆け引きを常に行い、チームを救うゴールを取ります。



昌子 健生

(4年/島根県立福山重陽高等学校出身)
ハードワークを心がけ、どのポジションで起用されても期待に応えます。



宮澤 祐太

(4年/広島県立福山重陽高等学校出身)
積極的なプレーを心がけ、仲間を助けます。



松島 圭汰

(2年/香川県・尽誠学園高等学校出身)
サイドバックとして、まずは守備の安定を目指し、オーバーラップで相手の脅威になりたいと思います。



佐々木 優

(4年/愛媛県立松山工業高等学校出身)
他の選手と違ったプレーをし、流れを変えます。



神谷 侑輝

(4年/島根県・立正大学松山高等学校出身)
コーチングで仲間を勇気づけ、しっかりとプレーをします。



森川 一平

(3年/島根県立浜田高等学校出身)
ディフェンスラインを統率し、ピンチを跳ね返し続けます。



齋藤 義輝

(3年/島根県・立正大学松山高等学校出身)
全力プレーと気持ちの強さを出しながら、チームを引っ張ります。



常森 恭平

(2年/広島県・広島県瀬戸内高等学校出身)
どのような状況でも冷静に跳ね返します。



渡邊 力

(3年/高知県・高知中央高等学校出身)
意表をつくプレーで流れを変え、チームを助けます。



矢島 健

(1年/島根県・立正大学松山高等学校出身)
上級生に遠慮することなく、がむしゃらに頑張ります。



小西 裕也

(3年/福岡県・筑陽学園高等学校出身)
堅実なプレーでチームに貢献します。



落合 樹

(2年/福岡県・筑陽学園高等学校出身)
ハードワークとコーチングでチームに貢献します。



石橋 廉

(1年/島根県・開星高等学校出身)
スピードで相手に脅威を与えられる選手を目指します。



屋根田 龍一

(2年/福岡県・筑陽学園高等学校出身)
しっかりとプレーと突破力を発揮したいと思います。



鳴石 将士

(1年/広島県・如水館高等学校出身)
スピードに乗ったドリブルで勝負します。



廣中 泰祐

(2年/広島市立沼田高等学校出身)
ディフェンスとして、堅実なプレーで安定した試合運びを心がけます。



鈴木 輝隆

(1年/栃木県・佐野日本大学高等学校出身)
スピードの緩急で勝負します。



吉岡 晃瑛

(2年/島根県・開星高等学校出身)
抜群のスピードで相手を置き去りにします。



清水 大地

(2年/島根県・立正大学松山高等学校出身)
ドリブル突破とコンビネーションで突破します。



村上 大弥

(1年/広島県・如水館高等学校出身)
どんな体勢からでも得点を狙います。

編集後記

サッカー部の第38回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントへの出場を記念して、学報の号外を発行しました。中国大学サッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント中国地域予選大会で優勝したサッカー部の皆さんに、お祝いを申し上げます。今回の活躍は、硬式野球部の全国大会出場と同様に、大学全体に感動と活気を与えてくれました。全国大会でもその実力が十分に発揮できるよう、学生及び教職員の皆さんで応援しましょう！

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地3蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>